初版作成日 : 2007/01/10
改訂日 : 2024/03/14

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
製品名称 : マシューズ JAM3005クリーナー
製品番号 (SDS NO) : LJAM3005CL-6
推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 : 産業用インクジェットプリンター用クリーナー
供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 : アルマーク株式会社(旧:株式会社ユニオンコーポレーション)
住所 : 大阪府吹田市江の木町19-19
担当部署 : 環境事務局
電話番号 : 06-6369-2711
FAX : 06-6369-1298

製造元 : (コスタリカ)Matthews International Corporation Costa Rica SRL
住所 : Zona Franca La Lima, Multitenant #8 Guadalupe, Cartago, Costa Rica
電話 : (506)-4000-1458

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素
GHS分類
健康に対する有害性
急性毒性(吸入):区分 3
皮膚腐食性/刺激性:区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2
呼吸器感作性:区分 1
皮膚感作性:区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2
GHSラベル要素

注意喚起語:危険
危険有害性情報
吸入すると有毒
皮膚刺激
強い眼刺激
吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
臓器の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
注意書き
安全対策
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.
グルタルアルデヒド	<1.0	111-30-8
水	85 - 95	7732-18-5

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

グルタルアルデヒド

REACH規則 SVHC候補リストに掲載の呼吸器感作性物質（第57条f - 人の健康）

グルタルアルデヒド

GHS分類区分に該当する危険有害成分

グルタルアルデヒド

どくろシンボル該当成分

グルタルアルデヒド

健康有害性シンボル該当成分

グルタルアルデヒド

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

（吸入もしくは飲み込んだ場合の症状）

呼吸困難

（皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状）

刺激性

眼刺激

---

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

消火を行う者への勧告

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業者は適切な保護具を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

関係者以外の立ち入りを禁止する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
（注意事項）
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
凍結させないこと
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。
保管
安全な保管条件
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
上限保存温度 :32.2℃
下限保存温度 :4.4℃
（避けるべき保管条件）
日光から遮断すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。

---

8. ばく露防止及び保護措置
管理指標
管理濃度及び濃度基準値
（グルタルアルデヒド）
濃度基準値 STEL: C 0.03ppm
許容濃度
（グルタルアルデヒド）
日本産衛学会(2006)（最大許容濃度）0.03ppm
（グルタルアルデヒド）
ACGIH(2015) STEL: 上限値 0.05ppm（上気道, 皮膚及び眼刺激; 中枢神経系障害）
特記事項
（グルタルアルデヒド）
皮膚感作性; 呼吸器感作性
OSHA-PELデータなし
NIOSH-RELデータなし
ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 水溶性液体
色 : 無色、透明
臭い : 溶剤臭
融点/凝固点 : 0℃
沸点又は初留点 : 100℃
可燃性(ガス、液体及び固体): 点火性なし
溶解度:
水に対する溶解度 : 混和する
蒸気圧 : 23.4hPa(20℃)
密度及び/又は相対密度 : 1.001

10. 安定性及び反応性

化学的安定性
常温常圧で安定
避けるべき条件
衝撃、摩擦、火気またはその他の着火源
凍らないようにする。
混触危険物質
強塩基
危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報

本製品は毒性試験を実施していない。成分の利用可能なデータを参照ください。

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
female rat LD50=77mg/kg (OECD TG 401, GLP) (CLH Report, 2013)

急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
rabbit LD50=403mg/kg (MOE 初期評価, 2017)

急性毒性(吸入)
[製品]
区分 3, 吸入すると有毒
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
vapor: male rat LC50=23.5ppm/4hr (OECD TG 403, GLP) (AICIS 評価書, 1994)

労働基準法:疾病化学物質
グルタルアルデヒド

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
ラビット(OECD TG 404, GLP)壊死と剥離(ECHA RAC Opinion, 2014)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
ラビット(GLP、45%溶液)角膜混濁と結膜腫脹、21日間で回復しなかった(ECHA RAC Opinion, 2014)
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[製品]
区分 1, 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
cat. 1A; 厚労省リスク評価書, 2015; ECHA RAC Opinion, 2014 et al.
皮膚感作性
[製品]
区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
cat. 1A; 厚労省リスク評価書, 2015; ECHA RAC Opinion, 2014 et al.
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[成分データ]
[ACGIH]
(グルタルアルデヒド)
A4(2015) : ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
(注)以下は特定標的臓器毒性に関し、区分を特定する根拠データを記載したものである。記載のない臓器への影響有無は不明である。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
呼吸器 (CLH Report, 2013 et al.)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]

（グルタルアルデヒド）
呼吸器（厚労省 リスク評価書, 2015）
誤えん有害性データなし
その他情報
内分泌かく乱特性データなし

12. 環境影響情報

本製品は生態毒性試験を実施していない。成分の利用可能なデータを参照ください。
生態毒性
水生環境有害性
地下水などの水流に入った場合には、水生生物などの環境へ作用を及ぼす。
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
（グルタルアルデヒド）
甲殻類（Acartia tonsa）LC50=0.07mg/L/48hr（EU CLP CLH, 2013）
水生環境有害性 長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
（グルタルアルデヒド）
藻類（デスモデスムス属）NOErC=0.025mg/L/72hr（EU CLP CLH, 2013）
水溶解度
（グルタルアルデヒド）
混和する（ICSC, 2000）
残留性・分解性
[成分データ]
（グルタルアルデヒド）
急速分解性あり（BODによる分解度 ：59%/28 days; TOCによる分解度 ：86%/28 days; GCによる分解度 ：100%/28 days（METI既存点検結果, 1995））
生体蓄積性
[成分データ]
（グルタルアルデヒド）
log Pow=-0.18（PHYSPROP DB, 2005）
土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
PBT及びvPvBに関する評価結果
PBT、vPvB評価結果データなし
内分泌かく乱特性
内分泌かく乱特性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
この物質は有害廃棄物として処理する。
汚染容器及び包装
容器は有害廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）: 非該当

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

グルタルアルデヒド

水生環境有害性: 短期(急性) 区分1 該当物質

グルタルアルデヒド

水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

グルタルアルデヒド

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

グルタルアルデヒド

名称通知危険/有害物

グルタルアルデヒド

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

第1種指定化学物質

グルタルアルデヒド1%未満

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

グルタルアルデヒド

REACH規則 SVHC候補リスト掲載物質

呼吸器感作性物質（第57条f - 人の健康）

グルタルアルデヒド

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制については、貴社の責任でご調査願います。

記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分やサプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022年度))です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。